



## 今日もフイフイ賑やが、元気いっぱい真滝児童館



指定管理を受けている真滝児童館の風景

ふれあいネットワーク

いちのせき

# 社協

第15号

# だより

〔2010年6月30日発行〕

真滝児童館は一関地域で唯一の健全育成型の児童福祉施設です。

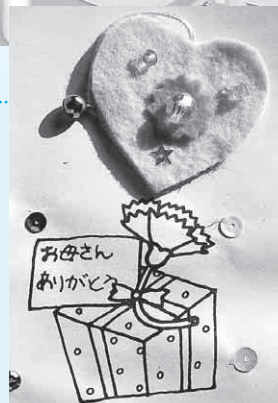
滝沢小学校の近隣にあり、子ども達が仲間と遊んだり、語り合ったりできる自由な場所です。

真滝児童館には毎日、放課後1～6年生50～60名の子ども達が「ただいま」と自由に来館し、宿題、砂遊び、ボール遊びなど、それぞれが好きなことをして過ごします。遊びの中で泣いたり笑ったり、様々な経験を通して社会のルールを学びます。

行事は月に1～2回行い、5月は母の日のプレゼント作りをしました。

また、地域の方々のご協力をいただきながら、年1回『じどうかんまつり』を開催し、昨年度は280名の参加で盛り上がりしました。

子どものための児童館です。職員も子どもの目線に立ち、子どもの思いを地域社会に反映していきたいと思っています。





平成二十一年度

## 一関市社会福祉協議会 事業報告

二十一年度は、一体感の醸成に努めつつ、基本理念（ビジョン）『支えあい 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づいて、生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる地域社会の構築に努めた。また、事業推進に当たり、基本理念、基本方針に基づき次の項目を実践目標として展開した。

## (1) 地域福祉の推進

市民の社会参加の促進とボランティア意識の醸成をはかりながら、住民相互で支え合う互助・共助の精神を高め、地域を支える仕組みの構築に努めた。

また、社協の事務事業の円滑な推進を図るため、福祉委員である行政区長、民生児童委員等の協力を得て、社協会費及び募金、福祉事業の調査、連絡調整などにより社協業務の推進と地域福祉の増進を図った。

## (2) 子育て支援

子育て環境が徐々に変化しつつあることを踏まえ、新たに子育てサロン事業に取り組むとともに、ファミリーサポートセンター事業等の利用促進を図り、子育て支援ネットワークの拡大に努めた。

## (3) 相談、支援体制

心配ごと相談所などで適切な相談業務を行い、関係機関と連絡を密にしながら問題解決にあたった。

また、判断能力が不十分な方への福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理などを行う、日常生活自立支援事業や、障害者や家族に対し、地域における生活を支援するための障害者支援プラザの活用を促進する等、相談支援機能の充実に努めた。

## (4) 介護保険事業及び障害者の自立支援

介護保険事業及び自立支援事業の運営に当たって、サービスの質の向上と収支のバランスを堅持し、更には社協の持つ公益性等の特性も踏まえながら経営基盤強化に努めた。

## 地域福祉事業

## (1) 第四回一関市社会福祉大会

平成二十一年七月二十九日(水)午後一時三十分から一関文化センターにおいて、四〇〇人が参加して行われた。

## (2) 社協ふくし祭り「ゆいっこ広場」の開催

市民と福祉関係者等とのふれあいの場を設け、互いの理解を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに努めるため、ボランティア活動の啓発をすすめながら、福祉まつりを開催した。

・開催日 平成二十一年十月十八日(日)  
・テーマ 「心のつながりを大切にするまちづくり」

## ・内容

小中高生による福祉作文表彰式並びに入賞作品朗読、バザー、子育てサロン体験、高齢者疑似体験、炊き出し訓練、もち振る舞い、施設からの出店 等

・会場 花泉総合福祉センター  
・来場者数 六五〇人（関係者含）

## (3) 社協だより

・全戸配布 年四回発行

## (4) ホームページの開設

一関市社会福祉協議会ホームページを開設し活動紹介を行った。

・総閲覧件数 一二、三二一件

## (5) 小地域福祉推進事業

地域の人々が安心して豊かな生活ができるような地域福祉を期するため、地区福祉活動推進協議会、自治会の自主的な福祉活動を支援するため、活動助成金を交付した。

・交付金額 二十五地区  
・七十四行政区に六、二二六、〇八〇円

## (6) ふれあいサロン事業

高齢者等の生きがい作りや、寝たきり・閉じこもり予防活動を目的に定期的に開催し、地域住民が主体となり実施したサロンに対し、活動助成した。

・助成サロン数 三二〇カ所（実施回数三、八七一回）

## (7) 子育てサロン事業

地域住民やボランティアが主体となり、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、当事者同士がふれあい仲間づくりを行う活動に対し活動助成した。

・助成サロン数 五ヶ所（参加会員数九十六人）

## (8) 講演会の開催

地域福祉に関する情報の提供と学習機会を設定するため、一関市民館、いちのせき市民活動センターと共催し、一関市総合福祉センターを会場に五回連続講座を開催した。

## (9) 一人暮らし高齢者の集い事業

六十五歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、高齢者の親睦交流等を図ることを目的に開催した。

・延開催回数 十二回 延参加者数 五三一人

## (10) 車いす貸出し事業

高齢者や障害者の生活を援助するため、外出時等に車いすを貸し出した。（貸出期間三ヶ月）

・保有台数 二〇二台  
・利用人員 一六一人

・貸出延台数 一九一台

## (11) 緊急連絡カード設置事業

緊急時に連絡が必要と認められるひとり暮らし高齢者等に作成配布し、民生委員の協力により、安全・安心をはかるため、住み慣れた家庭や地域で、緊急時の見守り活動を行った。

・配布枚数 二、八四七枚

## (12) 心配ごと相談所

日常生活の心配ごと、悩みごと等を気軽に相談できるよう相談員を委嘱し相談、援助に努めた。また、花泉、大東、千厩の各支部を会場に移動相談所を開設した。

心配ごと相談の推移

（相談時間 午前十時～午後三時）  
・開設日数 四十九日  
・移動相談日数 九日  
・相談延人数 七十八人  
・相談延件数 二六〇件

## (13) ボランティアセンター事業

① ボランティア保険の加入  
ボランティア活動をする際に安心して活動が行えるように「ボランティア活動保険」の手続を行なった。

・ボランティア保険 一、八七〇人  
・行事用保険 二十一件（二、二六九人）  
・送迎サービス補償 四人  
・有償活動保険 十一人

② ボランティア協力校の指定  
一関市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、ボランティアへの理解と関心を高め、ボランティア活動、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会への啓発を図ることを目的に、ボランティア協力校十七校を指定した。

③ ボランティア講座の開催  
I ボランティアスクール（中学生）の開催  
夏休み期間を利用して、中学生及び高校生が様々なふれあい体験を通して、ボランティア活動の理解とボランティア精神を醸成することをねらいに実施した。

- ・開催回数 二回
- ・参加者数 十七人

## II 高校生保育ボランティア体験の開催

子育て支援活動への参加を通して、ボランティア活動への関心を高めるとともに、いのちや家庭の大切さについて理解を深めることを目的として開催した。

- ・開催回数 二回
- ・参加者数 八人

## ④暮らしを支えるボランティアの集い事業

### (県社協補助事業)

各市町村の生活支援型ボランティアがサービスごとに集い、市町村の枠を越えた情報交換や交流の場とするともに、ボランティア活動に対する新たな参加機運を高める機会と社協事業、社会福祉実践PRの場としても活用できるよう開催した。

### 開催月日

平成二十一年十一月二十三日(月・祝) 午前  
十時三十分～午後四時

開催場所 川崎公民館(川崎町)

### 内容

対談「見守りシステムがもたらす効果を考える」

### 〈午後〉

分科会協議及び全体会

テーマ「安心して暮らすために私たちにできること」

- ①子ども・子育て家庭の見守り
- ②高齢者・障害者等の見守り
- ③防犯・防災につながる見守り

参加者 一関市・平泉町・藤沢町及び県内の

ボランティア団体・個人、NPO団体、地域福祉活動協力関係者、市町村社会福祉協議会職員 一〇一人

## (14) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅で寝たきり高齢者や重度障がい者の介護をされている方々の交流と、日頃の介護疲れを癒し、心身ともにリフレッシュを図るため集いを開催した。

- ・一泊 南三陸町ニュー泊崎荘 十七人

- ・日帰り 矢びつ温泉 瑞泉閣 五十三人

## (15) 福祉団体等助成事業

ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体の活動を助成した。

- ・三十八団体 九七七、〇〇〇円

## (16) 敬老会(受託事業)

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老会を敬老の日の前後に地区ごとに当祝者八十歳以上一二、七五八人を招待し開催した。

## (17) 食の自立支援事業(受託事業)

概ね六十五歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢夫婦、障害者等を対象に、食事を自宅に届け、食の自立を支援し、併せて安否確認を行った。

| 支部 | 二十年度 |        | 二十一年度 |        |
|----|------|--------|-------|--------|
|    | 登録者数 | 配食総数   | 登録者数  | 配食総数   |
| 大東 | 三〇人  | 二、〇七六食 | 一七人   | 二、〇九五食 |
| 千厩 | 六一   | 八三七    | 三五    | 四三     |
| 室根 | 七    | 三三〇    |       |        |
| 合計 | 九八   | 三、四四三  | 五二    | 二、五〇八  |

## (18) 外出支援サービス事業(受託事業)

在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行った。

- 稼働時間 二二・二時間三二分
- 延利用人数 九〇〇人

## (19) 日常生活自立支援事業(受託事業)

福祉サービスを自ら選択したり、福祉サービス提供事業者と契約することの判断能力が不十分な方に対し、利用手続きの援助や代行、公共料金の支払いなど、本人の日常生活の自立を支援した。

本協議会は西磐井及び東磐井の広域を担う「基幹社協」と位置付けられている。このため、専門員一人が配置され、生活支援員として一関支部四人、六支部・平泉町・藤沢町に各二人、合計二十人を委嘱し、利用者の支援に努めた。

- ・相談援助延件数 九九四件

- ・利用援助契約者数 五六人

## (20) 障がい者生活支援事業(受託事業)

一関障害者生活支援プラザにおいて、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供等を行った。また、本人参加のケア会議を開催し、処遇困難ケースについては一関地区障害者地域自立支援協議会のサービス調整会議で解決してきた。

- ・相談件数 一、四六〇件

## (21) 子育て支援事業(受託事業)

一関市ファミリーサポートセンターにおいて、育児の援助を行う方(協力会員)と、育児の援助を受ける方(依頼会員)、双方を兼ねる方(両方会員)を組織化し、育児に関する相互援助活動の支援を行った。また、子育て支援の相談・情報提供、保育ボランティアの派遣、子育て支援の講師として職員を派遣した。

- ・会員数 三六七人
- ・活動件数 九二二件
- ・子育て支援件数 一、三三四件

## (22) 手話通訳者等派遣事業(受託事業)

一関市内の聴覚障害者等が意思疎通に支障のある時、手話を介したコミュニケーションを行うことにより、聴覚障害者等の社会参加の促進及び交流活動の充実を図るため、手話通訳者等の派遣コーディネートおよび相談支援を行った。

- ・手話通訳者等派遣延べ人数 七十六人

## (23) 手話講習会の開催(受託事業)

手話を通じて、日常生活上のコミュニケーションを図り、聴覚障害者の支援や情報提供を行うことにより、障害者の理解と社会参加に役立てるため、開催した。

- ・開催日

平成二十一年八月二十二・二十九日／九月五・十二・十九・二十六日／十月三日(全七回)

- ・場所 一関市総合福祉センター
- ・参加者 十六歳以上で手話に関心のある一関市在住の方 三十八人

- ・内容 聴覚障害者理解等の講座と手話技術講座

## (24) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯や障害のある方、介護を要する高齢者等が同居する世帯に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るため、低い金利(一部無利子で、岩手県社協から貸付を行った)・貸付状況 四十七件

- ・貸付状況 四十七件
- ・二八、七八〇、七七〇円

## (25) たすけあい金庫貸付事業

失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、一時資金として無利子で貸し付けを行った。(限度額五〇、〇〇〇円)

- ・貸付状況 二十件 八六〇、〇〇〇円

## (26) 災害見舞金

罹災世帯、死傷者に対し見舞金を贈った。

- ・十件 二〇〇、〇〇〇円

## (27) 福祉団体等助成事業

ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体の活動に助成した。

- ・六団体 二、五〇三、〇〇〇円

## (28) 共同募金事業への協力

① 赤い羽根共同募金結果  
赤い羽根共同募金運動は、十月一日から目標額を達成するため、支部ごとに運動を展開した結果、近年の経済的不況が続く厳しい社会情勢を反映した結果となった。

この共同募金運動による配分金は、岩手県共同募金会を通じて県内の民間福祉施設、福祉団体、社会福祉協議会等の地域福祉事業の貴重な財源となつています。

- ・実績額 一八、四五八、六四〇
- ② 歳末たすけあい募金結果

「みんなてさきあうあつたかい地域づくり」をスローガンに、募金運動を展開し、戸別、職域、学校募金などが寄せられ、生活困窮世帯、ひとり暮らし高齢者、母子・父子世帯、寝たきり高齢者、認知症高齢者、障害児(者)を重点に、一関市社

会福祉協議会が民生児童委員の協力により配分したほか、施設にも配分した。  
・実績額 二二、七五五、九九〇円  
・配分実績 三、九七〇円  
二〇、九九二、七〇八円  
平成二十一年度実績額と配分額の差額七六三、二八二円は、いったん岩手県共同募金会に送金し、次年度の一関市社会福祉協議会の地域福祉事業、在宅福祉サービス等の事業費として配分を受ける。

## (29) 福祉センターの管理運営

設置主体（所有者）・・・社会福祉法人一関市社会福祉協議会

| 利用状況    |       | 二十年度   |       | 二十一年度  |  |
|---------|-------|--------|-------|--------|--|
| 開館日数    |       | 三五九日   |       | 三五五日   |  |
| 利用区分    | 件数(件) | 利用者(人) | 件数(件) | 利用者(人) |  |
| 国の機関    | 二八    | 六五七    | 三六    | 八四三    |  |
| 県の機関    | 六     | 三八     | 一四    | 二二九    |  |
| 市の機関    | 二八六   | 三、〇三三  | 二二六   | 二、八〇六  |  |
| 福祉関係団体  | 五七七   | 二、〇〇九  | 五九    | 九一八五   |  |
| 社会福祉協議会 | 一〇三   | 一、五二八  | 八三    | 一、二九七  |  |
| 会社・事業所等 | 三三七   | 四、三八九  | 三三四   | 六、〇〇二  |  |
| 計       | 一、二三六 | 一九九三   | 一、二四二 | 二〇、三七二 |  |

## 在宅福祉事業

### (1) 地域包括支援センター事業

（高齢者総合相談センターしづたみ設置）

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、介護・福祉・保健・医療などさまざまな面から総合的に支えるために、大東、東山地域を担当する地域包括支援センターとして平成二十二年一月に一関地区広域行政組合から委託を受け設置された。

平成二十二年一月～平成二十二年三月

### ① 予防給付関係

| 区分             | 給付管理延件数 | 三月末給付管理延件数 |
|----------------|---------|------------|
| (1)プラン作成数      | 七〇八件    | 二四四件       |
| (2)センター(包括作成数) | 三六〇     | 一一三        |
| (3)委託数         | 三四八     | 一一三        |
| (4)原案確認        | 四二      |            |
| (5)評価件数        | 三六      |            |

要支援1および要支援2の実人数（三月末現在） 三〇三人

### ② 総合相談

| 区分       | 件数  |
|----------|-----|
| (1)総合相談数 | 一六件 |
| (2)実態把握数 | 二〇人 |

### (2) ヘルパーセンター（介護保険事業）

要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 花泉    | 大東  | 東山  | 室根     | 合計    |
|-------|-------|-----|-----|--------|-------|
| 二十年度  | 一、七三三 | 七〇九 | 三八三 | 三二、三二七 |       |
| 二十一年度 | 六七    | 六〇  | 三六  | 〇      | 一、六三  |
| 二十二年  | 一、六七三 | 七九  | 四四  | 三三     | 三、二二八 |
| 軽減者   | 五九    | 五〇  | 四二  | 〇      | 一、五一  |

### (3) 介護支援事業所（障害者自立支援事業）

障害者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 花泉  | 大東 | 東山 | 室根 | 合計   |
|-------|-----|----|----|----|------|
| 二十年度  | 一四六 | 七三 | 七二 | 五五 | 三、四六 |
| 二十一年度 | 一七六 | 五八 | 七一 | 二八 | 三、三三 |

### (4) 訪問入浴センター（介護保険事業）

在宅で自力入浴が困難な方に、特殊浴槽を搭載した車で訪問し、入浴介護を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 大東  | 東山  | 室根  | 合計  |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 二十年度  | 五〇五 | 一五六 | 二二七 | 八九八 |
| 二十一年度 | 五三五 | 一六七 | 四〇  | 七四二 |

\* 室根…六月から休止し三月で廃止

### (5) デイサービスセンター（介護保険事業）

日帰り施設介護サービス。自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所支援を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 興田   | 大東    | 東山 | 室根  | 合計   |
|-------|------|-------|----|-----|------|
| 二十年度  | 一四二  | 一、三三三 | 九六 | 四六  | 四、〇六 |
| 二十一年度 | 八九   | 七二    | 一一 | 一   | 一、七三 |
| 二十二年  | 一、四六 | 一、三九九 | 九四 | 四八〇 | 四、二六 |
| 軽減者   | 八〇   | 六二    | 一七 | 一   | 一、五九 |

### (6) ケアプランセンター（介護保険事業）

依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談等の支援を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 花泉    | 大東    | 興田    | 東山 | 室根 | 合計   |
|-------|-------|-------|-------|----|----|------|
| 二十年度  | 一、五三二 | 一、四三三 | 一、四九二 | 八四 | 八三 | 六、四四 |
| 二十一年度 | 一、四四二 | 一、四三三 | 一、四三三 | 九六 | 九二 | 六、二八 |

### (7) 在宅介護支援センター（受託事業）

介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 興田    | 東山    | 合計    |
|-------|-------|-------|-------|
| 二十年度  | 一、四九二 | 一、二〇五 | 二、六九七 |
| 二十一年度 | 三九    | 九五六   | 九九五   |

### (8) 生活支援福祉サービス事業（受託事業）

六十五歳以上の高齢者や介護認定非該当者等を対象に生きがい支援として、次のサービスを提供した。

\* 生活管理指導員派遣事業

訪問介護員が訪問し家事援助等のサービスを提供した。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 花泉支部 | 大東支部 | 東山支部 | 室根支部 | 合計  |
|-------|------|------|------|------|-----|
| 二十年度  | 〇    | 九六   | 七七   | 〇    | 一七三 |
| 二十一年度 | 〇    | 八三   | 八七   | 二    | 一七二 |

\* 生きがいデイサービス事業

入浴、昼食、余暇活動を行いながら生活指導を行った。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 大東支部  | 東山支部 | 室根支部 | 合計    |
|-------|-------|------|------|-------|
| 二十年度  | 一、二四  | 四八   | 五七七  | 一、七三九 |
| 二十一年度 | 一、〇六一 | 三    | 五七七  | 一、六四一 |

### (9) 高齢者健康づくり教室事業

（ふれあい入浴サービス）（受託事業）  
各地区老人クラブ単位に入浴サービスや健康チェック、余暇活動等を提供し健康維持増進を図った。

### ◆大東支部

| 年度    | 実施回数 | 延利用人数 |
|-------|------|-------|
| 二十年度  | 七〇回  | 八三五人  |
| 二十一年度 | 六九回  | 七六九人  |

### (10) 障害者地域生活支援事業（補助事業）

在宅障害者の健康保持・生活支援を目的に、訪問入浴サービスを提供した。

延利用人数（単位：人）

| 年度    | 大東支部 | 東山支部 | 室根支部 | 合計  |
|-------|------|------|------|-----|
| 二十年度  | 一九七  | 二七   | 四二   | 三六六 |
| 二十一年度 | 二二三  | 二八   | 三    | 三五四 |

### (11) 生活介護事業

（身体障害者等に対する生活介護事業（デイサービス事業））  
在宅障害者に対し、昼間、入浴、排泄、食事の介助を行うとともに、創作的活動等の機会を提供した。

### ◆東山支部

| 年度    | 利用人数 | 延利用回数 |
|-------|------|-------|
| 二十年度  | 一人   | 四五回   |
| 二十一年度 | 一人   | 五一回   |



# 平成21年度決算の状況

## 一般会計

資金収支計算書 (甲) 平成21年4月1日 (乙) 平成22年3月31日

[単位:円]

| 勘定科目                  |                                          | 予算額         | 決算額         | 差異         |
|-----------------------|------------------------------------------|-------------|-------------|------------|
| 經常活動による収支             | 収入                                       |             |             |            |
|                       | 会費収入                                     | 32,271,000  | 32,366,500  | 95,500     |
|                       | 寄附金収入                                    | 9,918,000   | 11,396,210  | 1,478,210  |
|                       | 經常経費補助金収入                                | 106,915,000 | 102,754,014 | -4,160,986 |
|                       | 助成金収入                                    | 2,430,000   | 2,430,000   | 0          |
|                       | 受託金収入                                    | 93,119,000  | 92,027,551  | -1,091,449 |
|                       | 事業収入                                     | 13,004,000  | 12,286,365  | -717,635   |
|                       | 貸付事業等収入                                  | 4,442,000   | 3,496,000   | -946,000   |
|                       | 共同募金配分金収入                                | 31,589,000  | 31,584,013  | -4,987     |
|                       | 介護保険収入                                   | 461,248,000 | 467,129,708 | 5,881,708  |
|                       | 自立支援費等収入                                 | 20,758,000  | 21,574,940  | 816,940    |
|                       | 補助事業等収入                                  | 256,000     | 75,000      | -181,000   |
|                       | 雑収入                                      | 3,011,000   | 3,041,789   | 30,789     |
|                       | 受取利息配当金収入                                | 2,235,000   | 2,406,715   | 171,715    |
|                       | 経理区分間繰入金収入                               | 38,589,000  | 31,525,553  | -7,063,447 |
|                       | 經常収入計 (1)                                | 819,785,000 | 814,094,358 | -5,690,642 |
|                       | 支出                                       |             |             |            |
|                       | 人件費支出                                    | 486,695,000 | 478,066,333 | 8,628,667  |
|                       | 事務費支出                                    | 53,370,000  | 46,127,567  | 7,242,433  |
|                       | 事業費支出                                    | 153,043,000 | 138,444,398 | 14,598,602 |
| 施設整備等による収支            | 貸付事業等支出                                  | 3,000,000   | 860,000     | 2,140,000  |
|                       | 助成金支出                                    | 32,501,000  | 32,096,142  | 404,858    |
|                       | 会計単位間繰入金支出                               | 1,172,000   | 1,172,000   | 0          |
|                       | 経理区分間繰入金支出                               | 38,589,000  | 31,525,553  | 7,063,447  |
|                       | 經常支出計 (2)                                | 768,370,000 | 728,291,993 | 40,078,007 |
|                       | 經常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)               | 51,415,000  | 85,802,365  | 34,387,365 |
|                       | 収入                                       |             |             |            |
|                       | 固定資産売却収入                                 | 200,000     | 200,000     | 0          |
|                       | 施設整備等収入計 (4)                             | 200,000     | 200,000     | 0          |
|                       | 支出                                       |             |             |            |
|                       | 固定資産取得支出及び繰入金支出                          | 7,761,000   | 7,131,980   | 629,020    |
|                       | 施設整備等支出計 (5)                             | 7,761,000   | 7,131,980   | 629,020    |
|                       | 施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)              | -7,561,000  | -6,931,980  | 629,020    |
|                       | 収入                                       |             |             |            |
|                       | 積立金取崩収入                                  | 330,000     | 330,000     | 0          |
|                       | その他の収入                                   | 2,359,000   | 2,358,885   | -115       |
|                       | 財務収入計 (7)                                | 2,689,000   | 2,688,885   | -115       |
|                       | 支出                                       |             |             |            |
|                       | 積立預金積立支出                                 | 40,000,000  | 40,000,000  | 0          |
|                       | その他の支出                                   | 6,512,000   | 6,265,750   | 246,250    |
|                       | 財務支出計 (8)                                | 46,512,000  | 46,265,750  | 246,250    |
|                       | 財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)               | -43,823,000 | -43,576,865 | 246,135    |
|                       | 予備費 (10)                                 | 0           | 0           | 0          |
|                       | 当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10) | 31,000      | 35,293,520  | 35,262,520 |
| 前期末支払資金残高 (12)        |                                          | 244,276,000 | 244,276,605 | 605        |
| 当期末支払資金残高 (11) + (12) |                                          | 244,307,000 | 279,570,125 | 35,263,125 |

貸借対照表 平成22年3月31日現在

[単位:円]

| 資産の部       |               |               |              | 負債の部         |               |               |             |
|------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 科目         | 当年度末          | 前年度末          | 増減           | 科目           | 当年度末          | 前年度末          | 増減          |
| 流動資産       | 300,809,078   | 263,783,849   | 37,025,229   | 流動負債         | 21,238,953    | 19,507,244    | 1,731,709   |
| 現金         | 500,000       | 550,000       | △ 50,000     | 未払金          | 21,047,346    | 19,167,440    | 1,879,906   |
| 預貯金        | 197,943,804   | 166,622,175   | 31,321,629   | 預り金          | 186,407       | 339,804       | △ 153,397   |
| 未収金        | 100,743,838   | 96,175,544    | 4,568,294    | 前受金          | 5,200         | 0             | 5,200       |
| 前払金        | 460,900       | 436,130       | 24,770       | 固定負債         | 97,073,835    | 92,938,895    | 4,134,940   |
| 会計単位外貸付金   | 1,160,536     | 0             | 1,160,536    | 退職給与引当金      | 97,073,835    | 92,938,895    | 4,134,940   |
| 固定資産       | 988,676,397   | 971,643,801   | 17,032,596   |              |               |               |             |
| 基本財産       | 223,464,254   | 234,094,623   | △ 10,630,369 |              |               |               |             |
| 基本財産特定預金   | 7,000,000     | 7,000,000     | 0            |              |               |               |             |
| 建物         | 205,011,200   | 210,777,140   | △ 5,765,940  | 負債の部合計       | 118,312,788   | 112,446,139   | 5,866,649   |
| 建物付属設備     | 11,453,054    | 16,317,483    | △ 4,864,429  | 純資産の部        |               |               |             |
| その他の固定資産   | 765,212,143   | 737,549,178   | 27,662,965   | 基本金          | 7,000,000     | 7,000,000     | 0           |
| 建物         | 1,919,293     | 2,193,863     | △ 274,570    | 基本金          | 7,000,000     | 7,000,000     | 0           |
| 構築物        | 1,455,832     | 1,565,579     | △ 109,747    | 基金           | 300,000,000   | 300,000,000   | 0           |
| 車輛運搬具      | 13,428,322    | 19,640,208    | △ 6,211,886  | 福祉基金         | 300,000,000   | 300,000,000   | 0           |
| 器具及び備品     | 16,441,199    | 20,567,596    | △ 4,126,397  | 国庫補助金等特別積立金  | 153,715,923   | 158,570,083   | △ 4,854,160 |
| ソフトウェア     | 3,914,284     | 6,697,659     | △ 2,783,375  | その他の積立金      | 318,830,878   | 279,160,878   | 39,670,000  |
| 貸付事業等貸付金   | 12,148,500    | 14,784,500    | △ 2,636,000  | 財政調整積立金      | 107,515,574   | 107,845,574   | △ 330,000   |
| 退職共済預け金    | 58,848,465    | 54,713,525    | 4,134,940    | 介護保険財政積立金    | 211,315,304   | 171,315,304   | 40,000,000  |
| 福祉基金積立預金   | 300,000,000   | 300,000,000   | 0            |              |               |               | 0           |
| 財政調整積立預金   | 107,515,574   | 107,845,574   | △ 330,000    | 次期繰越活動収支差額   | 391,625,886   | 378,250,550   | 13,375,336  |
| 介護保険財政積立預金 | 211,315,304   | 171,315,304   | 40,000,000   | 次期繰越活動収支差額   | 391,625,886   | 378,250,550   | 13,375,336  |
| 退職金積立預金    | 38,225,370    | 38,225,370    | 0            | (うち当期活動収支差額) | (53,045,336)  | (45,154,718)  | (7,890,618) |
|            |               |               |              |              |               |               | 0           |
| 資産の部合計     | 1,289,485,475 | 1,235,427,650 | 54,057,825   | 純資産の部合計      | 1,171,172,687 | 1,122,981,511 | 48,191,176  |
|            |               |               |              | 負債及び純資産の部合計  | 1,289,485,475 | 1,235,427,650 | 54,057,825  |

脚注：減価償却費の累計額 479,687,885円

## 公益事業特別会計

## 資金収支計算書 (㊦) 平成21年4月1日 (㊧) 平成22年3月31日

[単位:円]

| 勘定科目                  |                                          | 予算額       | 決算額       | 差異        |
|-----------------------|------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 経常活動による収支             | 収入                                       |           |           |           |
|                       | 受託金収入                                    | 5,325,000 | 5,325,000 | 0         |
|                       | 介護保険収入                                   | 2,867,000 | 3,034,320 | 167,320   |
|                       | 雑収入                                      | 50,000    | 50,000    | 0         |
|                       | 受取利息配当金収入                                | 1,000     | 42        | -958      |
|                       | 会計単位間繰入金収入                               | 1,172,000 | 1,172,000 | 0         |
|                       | 経常収入計 (1)                                | 9,415,000 | 9,581,362 | 166,362   |
|                       | 支出                                       |           |           |           |
|                       | 人件費支出                                    | 4,142,000 | 3,958,457 | 183,543   |
|                       | 事務費支出                                    | 425,000   | 313,552   | 111,448   |
| 施設整備等による収支            | 事業費支出                                    | 4,244,000 | 3,819,613 | 424,387   |
|                       | 経常支出計 (2)                                | 8,811,000 | 8,091,622 | 719,378   |
|                       | 経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)               | 604,000   | 1,489,740 | 885,740   |
|                       | 収入                                       |           |           |           |
|                       | 施設整備等収入計 (4)                             | 0         | 0         | 0         |
|                       | 固定資産取得支出及び繰入支出                           | 278,000   | 150,780   | 127,220   |
|                       | 支出                                       |           |           |           |
|                       | 施設整備等支出計 (5)                             | 278,000   | 150,780   | 127,220   |
|                       | 施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)              | -278,000  | -150,780  | 127,220   |
|                       | 財務活動による収支                                |           |           |           |
| 財務活動による収支             | 収入                                       |           |           |           |
|                       | 財務収入計 (7)                                | 0         | 0         | 0         |
|                       | 支出                                       |           |           |           |
|                       | その他の支出                                   | 81,000    | 81,000    | 0         |
| 財務活動による収支             | 財務支出計 (8)                                | 81,000    | 81,000    | 0         |
|                       | 財務活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)               | -81,000   | -81,000   | 0         |
|                       | 予備費 (10)                                 | 0         | 0         | 0         |
|                       | 当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10) | 245,000   | 1,257,960 | 1,012,960 |
| 前期末支払資金残高 (12)        |                                          | 0         | 0         | 0         |
| 当期末支払資金残高 (11) + (12) |                                          | 245,000   | 1,257,960 | 1,012,960 |

## 貸借対照表 平成22年3月31日現在

[単位:円]

| 資 産 の 部  |           |      |           | 負 債 の 部      |             |      |             |
|----------|-----------|------|-----------|--------------|-------------|------|-------------|
| 科 目      | 当年度末      | 前年度末 | 増減        | 科 目          | 当年度末        | 前年度末 | 増減          |
| 流動資産     | 3,799,443 | 0    | 3,799,443 | 流動負債         | 2,541,483   | 0    | 2,541,483   |
| 現金       | 0         | 0    | 0         | 未払金          | 1,380,947   | 0    | 1,380,947   |
| 預貯金      | 64,643    | 0    | 64,643    | 預り金          | 0           | 0    | 0           |
| 未収金      | 3,734,800 | 0    | 3,734,800 | 会計単位外借入金     | 1,160,536   | 0    | 1,160,536   |
|          |           |      |           | 固定負債         | 0           | 0    | 0           |
| 固定資産     | 141,357   | 0    | 141,357   |              |             |      |             |
| その他の固定資産 | 141,357   | 0    | 141,357   |              |             |      |             |
| 車輛運搬具    | 0         | 0    | 0         |              |             |      |             |
| 器具及び備品   | 141,357   | 0    | 141,357   | 負債の部合計       | 2,541,483   | 0    | 2,541,483   |
|          |           |      |           | 純資産の部        |             |      |             |
|          |           |      |           | 国庫補助金等特別積立金  | 0           | 0    | 0           |
|          |           |      |           | 次期繰越活動収支差額   | 1,399,317   | 0    | 1,399,317   |
|          |           |      |           | 次期繰越活動収支差額   | 1,399,317   | 0    | 1,399,317   |
|          |           |      |           | (うち当期活動収支差額) | (1,399,317) | (0)  | (1,399,317) |
|          |           |      |           |              |             |      | 0           |
|          |           |      |           | 純資産の部合計      | 1,399,317   | 0    | 1,399,317   |
| 資産の部合計   | 3,940,800 | 0    | 3,940,800 | 負債及び純資産の部合計  | 3,940,800   | 0    | 3,940,800   |

脚注：減価償却費の累計額 9,423 円

# 千厩ワークプラザ特別会計

資金収支計算書 (自) 平成21年4月1日 (至) 平成22年3月31日 [単位:円]

| 勘定科目                                            |                                | 予算         | 決算         | 差異        |
|-------------------------------------------------|--------------------------------|------------|------------|-----------|
| 就労支援事業活動による収支                                   | 収入                             |            |            |           |
|                                                 | 就労支援事業収入                       | 2,720,000  | 2,713,325  | -6,675    |
|                                                 | 就労支援事業収入計 (1)                  | 2,720,000  | 2,713,325  | -6,675    |
|                                                 | 支出                             |            |            |           |
|                                                 | 就労支援事業支出                       | 2,720,000  | 2,713,325  | 6,675     |
| 福祉事業活動による収支                                     | 就労支援事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2) | 0          | 0          | 0         |
|                                                 | 収入                             |            |            |           |
|                                                 | 運営費収入                          | 2,007,000  | 1,880,057  | -126,943  |
|                                                 | 自立支援費収入                        | 18,276,000 | 18,578,586 | 302,586   |
|                                                 | 利用者負担金収入                       | 540,000    | 378,654    | -161,346  |
|                                                 | 経常経費補助金収入                      | 162,000    | 158,751    | -3,249    |
|                                                 | 雑収入                            | 1,000      | 5,000      | 4,000     |
|                                                 | 受取利息配当金収入                      | 7,000      | 3,597      | -3,403    |
|                                                 | 福祉事業収入計 (4)                    | 20,993,000 | 21,004,645 | 11,645    |
|                                                 | 支出                             |            |            |           |
| 施設整備等による収支                                      | 人件費支出                          | 8,368,000  | 8,165,675  | 202,325   |
|                                                 | 事務費支出                          | 2,811,000  | 1,983,013  | 827,987   |
|                                                 | 事業費支出                          | 5,360,000  | 4,700,443  | 659,557   |
|                                                 | 福祉事業支出計 (5)                    | 16,539,000 | 14,849,131 | 1,689,869 |
|                                                 | 福祉事業活動資金収支差額 (6) = (4) - (5)   | 4,454,000  | 6,155,514  | 1,701,514 |
|                                                 | 収入                             |            |            |           |
|                                                 | 施設整備等収入計 (7)                   | 0          | 0          | 0         |
|                                                 | 支出                             |            |            |           |
|                                                 | 施設整備等支出計 (8)                   | 0          | 0          | 0         |
|                                                 | 施設整備等資金収支差額 (9) = (7) - (8)    | 0          | 0          | 0         |
| 財務活動による収支                                       | 収入                             |            |            |           |
|                                                 | 財務収入計 (10)                     | 0          | 0          | 0         |
|                                                 | 支出                             |            |            |           |
|                                                 | その他の支出                         | 150,000    | 147,075    | 2,925     |
|                                                 | 財務支出計 (11)                     | 150,000    | 147,075    | 2,925     |
| 財務活動資金収支差額 (12) = (10) - (11)                   |                                | -150,000   | -147,075   | 2,925     |
| 予備費 (13)                                        |                                | 0          | 0          | 0         |
| 当期資金収支差額合計 (14) = (3) + (6) + (9) + (12) - (13) |                                | 4,304,000  | 6,008,439  | 1,704,439 |
| 前期末支払資金残高 (15)                                  |                                | 10,026,000 | 10,025,618 | -382      |
| 当期末支払資金残高 (14) + (15)                           |                                | 14,330,000 | 16,034,057 | 1,704,057 |

貸借対照表 平成22年3月31日現在 [単位:円]

| 資産の部     |            |            |           | 負債の部         |             |             |           |
|----------|------------|------------|-----------|--------------|-------------|-------------|-----------|
| 科目       | 当年度末       | 前年度末       | 増減        | 科目           | 当年度末        | 前年度末        | 増減        |
| 流動資産     | 17,034,016 | 10,746,742 | 6,287,274 | 流動負債         | 999,959     | 721,124     | 278,835   |
| 現金       | 30,000     | 30,000     | 0         | 未払金          | 999,959     | 702,322     | 297,637   |
| 預貯金      | 11,573,309 | 5,722,280  | 5,851,029 | 預り金          | 0           | 18,802      | △ 18,802  |
| 未収金      | 5,430,707  | 4,994,462  | 436,245   |              |             |             |           |
| 固定資産     | 612,257    | 887,840    | △ 275,583 | 固定負債         | 0           | 0           | 0         |
| その他の固定資産 | 612,257    | 887,840    | △ 275,583 |              |             |             |           |
| 車輛運搬具    | 56,073     | 84,107     | △ 28,034  |              |             |             |           |
| 器具及び備品   | 556,184    | 803,733    | △ 247,549 | 負債の部合計       | 999,959     | 721,124     | 278,835   |
|          |            |            |           | 純資産の部        |             |             |           |
|          |            |            |           | 国庫補助金等特別積立金  | 421,667     | 641,667     | △ 220,000 |
|          |            |            |           | 次期繰越活動収支差額   | 16,224,647  | 10,271,791  | 5,952,856 |
|          |            |            |           | 次期繰越活動収支差額   | 16,224,647  | 10,271,791  | 5,952,856 |
|          |            |            |           | (うち当期活動収支差額) | (5,952,856) | (5,924,290) | (28,566)  |
|          |            |            |           |              |             |             | 0         |
|          |            |            |           | 純資産の部合計      | 16,646,314  | 10,913,458  | 5,732,856 |
| 資産の部合計   | 17,646,273 | 11,634,582 | 6,011,691 | 負債及び純資産の部合計  | 17,646,273  | 11,634,582  | 6,011,691 |

脚注：減価償却費の累計額 2,164,767 円

# 支部通信

## 一関支部

### 「住民の手で病院を支える」 「病院ボランティアの取組み」

近年ますます医師不足が深刻になっている中、岩手県立磐井病院は「住民の手で病院を支えよう」との考えのもと、新病院移転時から一関市社協と協働して病院ボランティアの募集と養成を重ねてきました。その結果、今年四年目を迎える磐井病院ボランティア『ばつぎやの会』が発会しました。

『ばつぎやの会』では病院職員と協力し、患者さんが安らぎを得られる環境で安心して治療を受けることができるようにという理念のもと、患者さんとご家族のために様々なボランティア活動を行っています。



活動内容は、

外来案内班（外来案内・会計支

払機案内や患者さんの見守り、

お話を聴く等）、

園芸班（屋上庭園の草花の手入れ等）、

行事班（七夕・クリスマス・バザーの開

催等）、緩和病棟班（ティーサービス、コンサート

の開催、病棟用小物作成等）の四つの班活動によ

り、会員の相互協力のもと、ボランティア活動を展開しています。今年度からは

患者さんへの図書貸出しの班活動も開始され、ますます活動の広がりを

見せており、入院・外来を問わず、患者さんの「心の拠り所」となっているよう

です。会長の畠山さんは「オレンジのエプロンは、病院ボランティアの目印です。皆さん

お気軽に声をかけて下さい。また、私達と一緒に活動して頂けるボランティアの仲間も募っています。」と語っています。

（電話〇一九一―二三―三四五二  
磐井病院総務課 十和田まで）

電話〇一九一―二三―三四五二

## 花泉支部

### 熱戦！はつらつシルバー

毎年七月、花泉地域シルバースポーツ大会が開催されます。これは一関市、市老人クラブ連合会花泉支部、社協花泉支部の共催により行われ、当支部も開催に



あたりお世話をさせていただいています。六チーム編成で、各地区から選ばれた選手は足に自信のある健脚ぞろい。ゲートボールリレー等の団体種目では珍プレーが続出し、笑い声が絶えないのですが、年齢別徒競走や長寿リレーは真剣勝負。職員も庄倒される気迫と韋駄天ぶりで、老人クラブ青年部はまだ健在のようです。

去年は金沢チームが優勝で、長年連続優勝を続けていた永井チームを破る快挙でした。なおこの大会は、九月に行われる県大会出場

の予選も兼ね、毎年県大会でも、上位入賞を果たしています。

今年は七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

今年七月十四日開催を予定していますが、ケガのないよう無理せずに、ご健闘を祈念します！

## 大東支部

### 障がい者福祉サービス充実に期待寄せ 大東・室蓬会が新事業開設

社会福祉法人室蓬会（本田能久理事長）が、障がい者福祉サービス事業所室蓬館に生活介護棟を新たに開設しました。この生活介護棟は、障がい者が通所し、介護や食事、入浴、創作・生産活動といったデイサービスのサービスを受ける施

社会福祉法人室蓬会（本田能久理事長）が、障がい者福祉サービス事業所室蓬館に生活介護棟を新たに開設しました。この生活介護棟は、障がい者が通所し、介護や食事、入浴、創作・生産活動といったデイサービスのサービスを受ける施

社会福祉法人室蓬会（本田能久理事長）が、障がい者福祉サービス事業所室蓬館に生活介護棟を新たに開設しました。この生活介護棟は、障がい者が通所し、介護や食事、入浴、創作・生産活動といったデイサービスのサービスを受ける施

社会福祉法人室蓬会（本田能久理事長）が、障がい者福祉サービス事業所室蓬館に生活介護棟を新たに開設しました。この生活介護棟は、障がい者が通所し、介護や食事、入浴、創作・生産活動といったデイサービスのサービスを受ける施



## 千厩支部

### 「千厩高校ボランティアプロジェクト」行われる！

四月下旬、千厩高等学校では、今年も生徒約三百名が参加して通称「SVP（千厩ボランティアプロジェクト）」が実施されました。

この事業は生徒会が企画しているもので、高体連地区予選で不在の生徒を除く約三百名が「普段お世話になっている地域に少しでも貢献したい」と生徒が主体となって実施されている活動です。自分の生活する地域への理解を深め、生徒のボランティアに対する意識を育てる、そして新クラスの親睦を深める等の点から、

設。定員は十六名で五月二十四日から利用を受け入れていますが、希望が多く、ほぼ定員に達している状況。

利用者だけでなく、家族からも安心して地域で生活できる場ができたこと喜びの声があがっています。

また、室蓬館では四月から指定相談支援事業所「室蓬館障がい者サポートセンター」も開設し、相談支援専門員が福祉サービスの利用や就労等への相談に対応しています。





学校でも支援を行っています。

今回の活動内容は、千厩町内のクリーン作戦、介護施設「千寿荘」での窓拭き、介護施設「やまゆり」でのプランター作り、雑巾縫い・寄贈、千厩病院の花壇整備、学校の草取りでした。当日の朝ホームルームで活動内容を確認した後、生徒はそれぞれに活動場所へ向います。ゴミ袋を持ち軍手をはめて校門から出てゆく生徒やズックと雑巾を片手に介護施設へ急ぐ生徒。プランターに植える花は同校の農場で栽培されたもので、この活動は主に生産技術科が中心となつて行いました。また、介護施設では、茶道部によるお点前も披露され、施設の利用者の皆さんがニコニコしながら、お茶とお菓子をいただいています。

過去には、千厩高校が取組んでいる様々な活動に対して、財団法人日本善行会から全国表彰を、また、県立千厩病院からは千鶴賞を受賞したこともあります。

千厩高校はボランティア協力校でもあります。今後も独自の活動でボランティアへの意識を育てていただきたいと思います。

## 東山支部

### 脳元氣レクリエーション

東山在宅介護支援センターでは、いきいきサロン等の依頼を受けて脳元氣レクリエーションを行っています。

「脳元氣レクリエーション」と題して、手や指を開いたり閉じたりするものから、二人組、グループで協力しながら行う内容を中心に行っています。

また、グループで行うレクリエーションの一つとして空き缶詰みを行っています。これは、一定時間内で空き缶を交代で何段積めるかを競うもので、集中力や協調性を図る事を目的に行うものです。五月二十五日に山谷地区の「山谷元氣サロン」で十二段を積み上げました。また、三室地区で行っている「いきいきお茶の会」では、十段を積みました。

脳元氣レクリエーションは、認知症予防を主眼に集中力や他者との交流推進・協調性等コミュニケーションを図る事を目的に行っています。



## 室根支部

### 声の広報ボランティア室根

声の広報ボランティア室根の活動は、室根町在住の目の不自由な方々へ地元の情報を提供することを目的として「広報いちのせき」の掲載記事をカセットテープに録音して毎月お届けしています。

この活動は昭和五十七年九月から二十七年間続けられています。

当時のボランティア活動の中で何とかして目の不自由な方にも「広報むろね」を読んであげたい、いつでも何回でも聞



いてもらいたいという思いが始まりました。

現在も、毎月の「広報いちのせき」の記事を分りやすく丁寧に読んで録音しています。室根地域及び周辺地域の記事を中心に、また興味深い記事や重要と思われる記事をピックアップして録音しています。

「今後も声の広報を楽しみに待っている人がいる限り続けて行きたい。」と語る千葉睦子さん（写真左）と、「目の不自由な方々に少しでも役に立っていると思うとやりがいを感じる。」と語る小山菊子さん（写真右）です。

町内の目の不自由な方々からは、市内の様子が手に取るように分り楽しみにしていると言う声が寄せられています。

## 川崎支部

### 高齢者の体力測定

五月十四日（金）川崎体育センターで、岩手県老人クラブ主催の「第一回高齢者の体力測定」が行われました。定期的に体力測定を行い、自分の体力保持に役立てることが目的です。



三十四名の高齢者が、保健師の血圧測定・健康状態と日常生活活動チェック・ストレッチの後、①握力②上体起こし③長座体前屈④開眼片足立ち⑤10m障害物歩行⑥六分間歩行の六種目に参加しました。二人でペアを組み協力して和気藹々楽しみながらこなして行きました。自身で記録して点数をつけることで自己評価と総合評価を点検し、六角形のグラフに記入することで体力のあるなしやバランスを自覚して、今後どんな運動が必要かを知ることができました。

参加者の年齢は六十歳代六名、七十歳代二十名、八十歳代八名ですが、体力測定に参加する程の方々ですから皆さん元氣ハツラツ！スタッフから頑張り過ぎないようにアドバイスされるほどでした。第二回目は十月に実施し、同じ人が同じ種目で測定して比較する予定です。夏の間の運動の成果を披露してくれることでしょう。

# 地域活動団体紹介

## 室根第十二区自治会

地区住民の手作りで復元した水車（こつとんこ）を集落のシンボルに、特色ある地域づくりに取り組む室根第十二区自治会の活動を紹介します。

年間事業は、昔の伝統行事を重んじた自治会元朝登山から始まり、小正月行事、水車祭、森は海の恋人植樹祭、灯籠流し等、地区民のコミュニティ、交流事業と幅広い活動をしています。どの事業も、地区民総参加を目指し、高齢者の方も積極的に役割（水車で粉ひき等、永年の経験・



技術を要するもの）を持ち、その達成感を皆と一緒に味わいます。一方、子どもたちが楽しめる昔遊びや親子ふれあい行事等により、事業参加を促し、地域の老若男女問わず参加する世代間の交流にも繋がっています。

「子どもたちは地域で育てるもの」という観点から、子どもの体験学習にも、精力的で、今年は、山・川・海の一連の生態系の大切さの理解を目的に、気仙沼市のNPO法人森は海の恋人と共同主催で「森は海の恋人 子どもサマースクール2010」（7日間）を7月に開催の予定です。

少子高齢化が進む中で、地域の活力を取り込もうとする活動として、特産品矢越かぶ等里の産物と海産物との交流は、経済交流をも越えて周囲を巻き込んで年々盛んになり、第十二区自治会の特色ある地域づくりは益々輝きを増しています。

## 親子カヌー体験

\*\*\*\*\*

「川好き。」一言で表現すればそんな人達で構成される「NPO法人北上川サポート協会」です。平成十六年にNPO法人の認可を受け、現在会員は四十三名、市の施設である北上川交流センターの指定管理や国土交通省岩手河川国道事務所の



調査船の運航委託業務を行いながら、北上川・砂鉄川で川の活動を中心に行っています。

主な活動は、北上川の環境保全活動の一環として毎年春・秋に川のゴミ拾い。子供達に川との触れ合い、川の楽しさを知ってもらうためのカヌー体験。その他川崎地域のホタル観察会といったことも行っています。また、川崎地域の川のイベントEポート大会では主管団体として、会員、スタッフと共に取り組んでいます。

今後も「川と共に生きる」をモットーに、より多くの方々に川に親しんでもらうため、流域住民の皆さん、学校、各種団体等と連携を図りながら、学習、体験の場としての活動をどんどん提供していきたいと、会員一同頑張っております。ぜひ一度川に来て体験されてみては、いかがですか。活動、入会に関するお問い合わせは電話0191-3615666

## 役員改選

四月二十一日開催の評議員会において、理事、監事が選任され、五月十一日に開催された、理事会において会長、副会長の互選と常務理事の指名が行われ次のとおり決定いたしました。

（任期 平成二十二年五月十一日から平成二十四年五月十日）

| 会 長     |   | 副 会 長   |   | 常 務 理 事 |   | 理 事     |   | 監 事     |   |
|---------|---|---------|---|---------|---|---------|---|---------|---|
| 大 澤 弘 毅 | 再 | 永 澤 國 雄 | 再 | 鵜 浦 篤 治 | 再 | 及 川 菊 夫 | 再 | 阿 部 忠 朗 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 佐 藤 悦 郎 | 再 | 門 田 善 悦 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 丹 野 貞 男 | 再 | 海 野 正 之 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 三 浦 巧 和 | 再 | 島 山 英 一 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 小 山 賢 和 | 再 | 菅 原 榮 治 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 鈴 木 英 一 | 再 | 小 山 英 一 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 昆 野 洋 子 | 再 | 阿 部 忠 朗 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 小 山 賢 和 | 再 | 及 川 忠 朗 | 再 |
|         |   |         |   |         |   | 三 浦 巧 和 | 再 | 金 野 啓 雄 | 再 |

敬称略

副会長であった石川 巖氏、理事であった本田 宗助氏、佐藤 昭男氏、千葉 繁美氏、瀬上 祐子氏、監事であった佐藤 哲彌氏、菅原 傳介氏が退任されました。地域福祉充実のためご尽力いただき、感謝申し上げます。



# 地域への暮らしを考える

五回連続講座

〈共同企画〉

昨年度に引き続き五回連続講座は五月十五日、「一関藩物語」と題し一関市博物館副館長の大島晃一氏に講演いただきました。

一関の特徴は、と言えば和算がさかな地であったこと（残存算額枚数が日本でトップ）、建部清庵を先達とする蘭医学の系譜は大槻玄沢に始まり、多くの学者、医者を生んだこと（華岡青洲の薬箱に見るエピソード）がまず挙げられます。

一関藩は仙台藩の支藩で、田村三万石は愛姫の孫である田村宗良に始まります。三万石とは言え、幕府に認知された独立大名ですから幕府のおつとめもはたしておりますし、江戸には上屋敷、中屋敷、下屋敷の三つの藩邸がありました。一関藩は城は許されませんでした。城下町としての機能は備えておりました。因みに仙台以北の大名城下町というのは一関、盛岡、八戸、弘前だけです。



「一関城下図」をご覧ください。今の一関と何も変わっておりません。基本は城下町そのままです。吸川の河道が変わっている位です。江戸期から以降は今日にいたるまで連続と続いているのです。ですから一関の今を考えるに当たり、その原点となる江戸時代をきちんと知っておくことはあながち無意味なことではないでしょう。

その後①侍屋敷と町屋敷（特に内家中と外家中、一軒屋敷と半軒屋敷について）、②人口と家族構成、③一関のお祭りの原点についてお話をさせていただきます。

次いで実践事例発表は「中里地区福祉活動推進協議会の活動」と題し、同協議会の事務局長 辻山慶治氏に発表していただきます。

活動を開始したのが平成元年ですから年号がそのまま活動の歴史になります。二十年には「地域福祉二十年の記録」という記念誌を発行いたしました。日々の活動の記録は「中里推進協だより」を年三回発行し地域住民にお知らせをし、課題の共有化を図るようにしています。

地域活動の方針は①人間的なふれあいの中で、ゆとりと安らぎのある暮らしができる地域社会の実現、②小地域での自主的な福祉活動の推進、③行政機関、関係団体と連携しながら事業を推進する、の三つです。



実施している事業ですが、これも大きく分けて三つです。まず独自事業として九項目。うち、二つが新規事業です。②共催事業が二、③協力事業が二です。

独自事業のうち「中里推進協だより」の年三回発行や、小・中学校の協力を得て「暑中見舞」、「年賀状」を七十歳以上の一人暮らし老人に送付していることはユニークな取り組みではないかと思っております。

また、今年は新たに「心をいやす花壇鑑賞（バスツアー）」と「高齢者のニーズ調査」を行う予定です。

私達の活動の基本は「ハートtoハート」です。本日の発表が他の地域の福祉活動の参考になれば幸い、と話を締めくくりました。

① 本企画内容の抄録をご希望の方は社会福祉協議会まで。

② 第二回は七月十五日で演題は「老後の暮らしとお金」、実践事例発表は「地域資源を生かして地域力アップ」です。お問合せは、一関公民館まで。

## 絵画寄贈

及川功至氏より絵画二点が社会福祉協議会へ寄贈されました。福祉センターに展示しておりますので、お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。



「磐井川」  
福祉センター2階に展示



「サイカチ」  
福祉センター3階に展示



## まごころ寄附

平成22年3月から平成22年5月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

## 本 部

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 一関地区保育協議会環境分科会様     | 車椅子1台    |
| 花泉町花泉字袋 花沢流蕃扇会岩手支部様 | 100,000円 |

## 一関支部

|          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 一関市新町    | 阿部 功様   | 50,000円  |
| 一関市三関字神田 | 松倉 忠様   | 7,400円   |
| 一関市      | 一関華道協会様 | 104,045円 |
| 一関市山目字前田 | 千葉 洋子様  | 300,000円 |
|          | 匿名      | 100,000円 |
|          | 匿名      | 10,000円  |
|          | 匿名      | 320円     |

## 花泉支部

|                     |        |          |
|---------------------|--------|----------|
| 花泉町永井字赤坂前           | 千葉 孝毅様 | 50,000円  |
| 花泉町日形字下清水           | 増子 嘉徳様 | 100,000円 |
| 花泉町涌津字境             | 鈴木 丈喜様 | 100,000円 |
| 花泉町花泉字下北浦           | 佐藤 奨様  | 100,000円 |
| 花泉町老松字上汁足           | 千葉テル子様 | 100,000円 |
| 花泉町油島字原田            | 猪股 美保様 | タオル126枚  |
| 花泉町涌津字中町            | 小野寺輝子様 | 100,000円 |
| 花泉町 油島ボランティアの会白鳥の会様 |        | タオル帽子75枚 |
| 花泉町永井字粒乱田           | 及川 弘人様 | 100,000円 |

## 大東支部

|                     |        |          |
|---------------------|--------|----------|
| 大東町大原字台             | 勝部 工様  | 30,000円  |
| 大東町大原字中島            | 足利那智雄様 | 50,000円  |
| 大東町大原字山吹            | 千葉 隆三様 | 50,000円  |
| 大東町摺沢字綱木            | 青柳 勇様  | 50,000円  |
| 大東町曾慶字和野            | 岩渕 静子様 | 30,000円  |
| 大東町渋民字上川原           | 佐藤 征彌様 | 50,000円  |
| 大東町大原字萱             | 小野寺由郎様 | 50,000円  |
| 大東町大原字鎌倉            | 中澤富士男様 | 50,000円  |
| 大東町 大東町各種女性団体連絡協議会様 |        | 30,000円  |
| 大東町渋民字平前            | 金野 眞悦様 | 100,000円 |
| 大東町摺沢字大森            | 千葉 忠夫様 | 50,000円  |
| 大東町中川字柳ノ平           | 柏原 恒雄様 | 50,000円  |
| 大東町大原字畑中            | 八島美紀己様 | 50,000円  |
| 大東町沖田字八日町           | 小山 和行様 | 50,000円  |
| 大東町                 | 中川婦人会様 | 21,022円  |
| 大東町渋民字関ノ上           | 佐藤 文彦様 | 50,000円  |
| 大東町沖田字八日町           | 金野 岩様  | 200,000円 |
| 大東町猿沢字山崎            | 及川 弘喜様 | 100,000円 |
| 大東町鳥海字小森            | 伊東 清吾様 | 100,000円 |

|           |        |           |
|-----------|--------|-----------|
| 大東町大原字岩脇  | 勝部 洋子様 | 30,000円   |
| 大東町大原字古小屋 | 畠山 義昌様 | 30,000円   |
| 大東町大原字古小屋 | 畠山 義昌様 | 車イス3台     |
| 大東町大原字台下  | 高井 公志様 | 50,000円   |
| 大東町大原字立町  | 菊池 光枝様 | 30,000円   |
| 大東町摺沢字石倉  | 岩館千代子様 | 100,000円  |
| 大東町渋民字横張  | 三浦 孝浩様 | 50,000円   |
| 盛岡市       | 高橋 昌勝様 | 商品券1,000円 |

## 千厩支部

|           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| 千厩町千厩字上駒場 | 千厩中学校生徒会様  | 6,625円   |
| 千厩町磐清水字鷹巣 | 佐藤 誠志様     | 10,000円  |
| 千厩町千厩字石堂  | (有)家具の小野寺様 | 5,200円   |
| 千厩町千厩字町   | 片岡 宏子様     | 100,000円 |
| 千厩町奥玉字熊ノ沢 | 田名網良夫様     | 30,000円  |
| 千厩町清田字北沢  | 大山 健治様     | 50,000円  |
| 千厩町千厩字摩王  | 佐々木善子様     | 100,000円 |

## 東山支部

|            |        |          |
|------------|--------|----------|
| 東山町長坂字西本町  | 小竹 正男様 | 100,000円 |
| 東山町長坂字長平   | 菅原 王男様 | 100,000円 |
| 東山町長坂字西本町  | 佐藤 京子様 | 50,000円  |
| 東山町田河津字紙生里 | 小野寺国助様 | 30,000円  |
| 東山町        | 長久会様   | 雑巾400枚   |
| 東山町        | 天寿会様   | 雑巾141枚   |
| 東山町        | 日赤奉仕団様 | タオル98枚   |
|            | 匿名     | 100,000円 |

## 室根支部

|            |        |         |
|------------|--------|---------|
| 室根町矢越字朴木   | 村上 孝様  | 50,000円 |
| 室根町折壁二丁目   | 小山 秀司様 | 50,000円 |
| 室根町津谷川字有切  | 菊地 一男様 | 30,000円 |
| 室根町矢越字高沢   | 加藤 恵子様 | 30,000円 |
| 室根町津谷川字下川原 | 畠山 忠一様 | 30,000円 |
| 室根町津谷川字中磯  | 熊谷 隆一様 | 30,000円 |

## 川崎支部

|                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| 川崎町門崎字神平       | 藤江 輝雄様    | 100,000円 |
| 川崎町薄衣字諏訪前      | 千葉 郁子様    | 50,000円  |
| 川崎町門崎字千手堂      | 小野寺清顯様    | 30,000円  |
| 千厩町千厩字北方       |           |          |
| 琴城流大正琴振興会東磐井支部 | 支部長 佐藤麗子様 | 30,000円  |
|                | 匿名        | 4,439円   |

ホームページに関する  
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

http://www.ichinoseki-shakyo.com/ E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com